

教科教育学コンソーシアム

第4回シンポジウム

教科教育学研究の メソドロジー

— 私たちは何のために何を
どのように研究しているか —

2024. 3 / 10 (Sun.)

13:30 – 16:30

一橋講堂 第3/4会議場 (オンライン配信あり)

基調講演は日本語通訳あり

▶ 昨年度から各加盟学協会の言語体系 (概念と方法論) に関する共同研究を始めた。各教科・領域は独自の言語体系を構築する一方で、各教科・領域を架橋し対話を可能にしている学術的な規範・文化も共有している。本共同研究ではこの点の可視化を試みたい。第4回シンポジウムでは、各加盟学協会が発行する雑誌の掲載論文を対象にした**研究方法論の比較考察**の成果を報告する。

▶ 海外の教科教育学の動向も継続的にフォローしていく。今年度は**ドイツ語圏の動き**に注目する。ドイツでは2001年に31の諸教科の学協会が加盟する**教科教授学学会**(Gesellschaft für Fachdidaktik)が誕生した。同団体は日本の教科教育学コンソーシアムとおおむね問題意識を共有していると考えられる。第4回シンポジウムでは、同団体の活動を牽引する2名の研究者をお招きし、**一般教科教授学 (GSD)**の構想をご報告いただく。

主催：教科教育学コンソーシアム (JCOSPA)

申込：以下より、事前登録をお願いします。

教科教育学コンソーシアムのホームページ (<https://jcospa.org/>)

または右のQRコードから

メールでのお問い合わせ ▶ jcrda1@hiroshima-u.ac.jp

「教科教育学コンソーシアム」とは、主に教育関連学会連絡協議会に加盟する教科教育学関連の学協会が設立された組織です。現時点で14の学協会が構成されています。

1. 開会のことば (13:30-13:40)

深澤清治

(教科教育学コンソーシアム代表理事)

2. 基調講演 (13:40-15:20)

(1) ドイツ語圏の各科教授学の動向

阪上弘彬 (千葉大学), 宮本勇一 (岡山大学)

(2) General Subject Didactics:

Comparative Insights into Subject-Matter Didactics as Academic Disciplines

Helmut Johannes Vollmer

(オスナブルク大学名誉教授)

Martin Rothgangel

(ウィーン大学教授)

教師教育センター長



(3) 質疑応答

岡出美則 (研究推進委員会副委員長)

3. 科研成果中間報告 (15:30-16:25)

(1) 加盟学協会の学会誌掲載論文の方法論

山元隆春 (広島大学), 貴志倫子 (福岡教育大学)

(2) 総合討論

草原和博 (研究推進委員会委員長)

4. 閉会のことば (16:25-16:30)

清水美憲

(教科教育学コンソーシアム副代表理事)

※本シンポジウムは、科学研究費・基盤研究 (B) 「教科教育学のターミノロジーとメソドロジーの体系化研究—学術共同体の構築のために—」の補助を得て開催します。

